

平成二十九度 校外研修

国会議事堂・浜離宮・フジテレビの参観添乗記

高野 一郎

研修日の3月30日、晴天の絶好の旅行日和。今年の桜は、例年より1週間早い開花状況。49名の参加で、大型バス1台で校外研修が行われました。バスの中では、参加者の自己紹介が行われユニークなお話しが有り大変和みました。最初の研修地は、恒例の国会議事堂の訪問。通常、議事堂内の案内は、議事堂の職員ですが、特別に門山ひろあき議員秘書の片山哲生様の案内で行われました。片山様のユーモア有る説明で、笑いが絶えませんでした。特に印象に残ったのは、中央広間は、2階から6階までの吹き抜けになっており天井まで32m有り法隆寺の五重の塔がすっぽり入る高さです。天井と窓には、スタンドグラスがはめ込まれ、光を採りこんでいます。また広間には、議会政治の基礎を築いた3人の銅像（伊藤博文・大隈重信・板垣退助）が有り、3人の説明を受け、あらためて、感銘を受けました。ところで、四つ目の台座には銅像が有りません。「四人目を人選できず将来に持ち越された」また「政治に完成はない、未完の象徴」という意味もあると言われています。



次に浜離宮に訪れました。公園の面積は約25ヘクタール。桜の開花状況を心配していましたが、見ごろでした。庭園から見える高層ビル群が立ち並び、すばらし景観でした。また、菜の花の鮮やかな黄色の花が咲き日本庭園の良いアクセントになっていると思いま

した。最後の訪問先は、フジテレビの見学。最上階の球状の展望室に入る。快晴のため高層ビル群、レインボーブリッジ、東京タワー等が立ち並ぶ大